

議会

ハーフマラソンで公認コース認定を目指す

新たに3人の教育委員。民間からも

2月定例市議会は2月29日から3月21日までの22日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計当初予算をはじめ、介護保険や国民健康保険関連の条例の一部改正など47議案が原案どおり可決・同意などされました。また、一般質問に答える形で市



公認コースを目指すハーフマラソン

長は、そうじゃ吉備路マラソンのハーフマラソンのコースを次期大会までに、公認コースとして認定されることを目指すと表明しました。

■予算と条例

予算は、一般会計と7特別会計、公営企業会計の当初予算が可決。平成24年度の一般会計当初予算の総額は250億1000万円。主な事業は、障がい者の雇用の開拓と就労を支援する機関「障がい者千人雇用センター」の設置、清音神在本の線の改良、耐震化のための総社中学校建替え、消防署の昭和出張所の移転、雪舟くんの運行などです。〔6ページ関連記事〕

条例では、国民健康保険の保険料率の改定と介護保険料の基準額の引き上げなどを内容とした条例の一部改正が可決されました。〔14ページ関連記事〕

議会側からの提案で、総合計画基本構想と都市計画に関する基本的な方針の策定や変更などには議会の議決を必要とする「議会の議決すべき事件に関する条例」の制定、雪舟くんの運行の見直しを毎年度必要に応じて行うこととする「総社市新生活交通の運行に関する条例」の一部改正も可決されました。

■教育委員

人事案件は5件を提案。5月11日に任期満了を迎える教育委員2人と3月31日付けで辞職する栗田交三教育長の後任として、くらしき作陽大

学教授の林直人さん(総社)、宝福寺副住職の小鍛冶一圭さん(井尻野)、元JFE物流株式会社(倉敷市)の3人を教育委員とすることにいずれも同意されました。任期は、林さんと小鍛冶さんが5月12日から4年間。山田さんは栗田教育長の残任期間の4月1日から平成25年5月11日までです。

人権擁護委員に、林和子さん(西阿曾)と川田一馬さん(下原)を推薦することにも同意されました。

多文化共生

医療問答を5か国語で紹介

医師と外国人患者の会話の支援ガイドブック

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係 (☎8242)

病気の診察時に医師と外国人患者との意思疎通をスムーズにするための会話支援ガイドブックとして、『多言語医療ガイド』を作成しました。ガイドは、市に寄せら



言語ごとに1冊のつづりになっている『多言語医療ガイド』。つづる形式のため、新しいページの追加や不要なページの削除がしやすい。また、医療機関の一覧とその所在を示す地図も掲載

れる医療関係の相談が増加傾向にあり、外国人の受診を容易にしようとポルトガル語、中国語、英語、韓国語、スペイン語の5言語で作成。症状の説明や医師からの指示、薬の服用の仕方、受付、会計の手続きなど、内科や歯科の受診で想定される会話を外国語と日本語で併記し、指で示すことで会話ができるよう作られています。5言語全部で2100部を印刷。市内の医療機関と外国人世帯に配布しています。

内容は、市と多文化共生に関する協定を締結しているNPO法人AMDAグループの国際医療情報センターの協力を得て、協働でまとめました。

地域包括支援センター業務を6事業所が受託
高齢者の生活支援や介護予防の業務を開始

問い合わせ 介護保険課 介護予防係 (☎92-8244)



地域包括支援センターの移行式が3月28日、市役所で行われ、同センターの業務を受託した6事業所の代表らが握手した

市から地域包括支援センターの業務を受託した6事業所が4月1日、施設内に同センターを設置し、業務を開始しました。

高齢者やその家族からの相談や介護予防プランの作成などを行いますのでご利用してください。センターが所在する施設は次のとおりです。

- ▼総社・池田地区 泉リハビリセンター (☎94-5577) ▼常盤・清音地区 グリーンアンドリバーホーム (☎92-7888)
- ▼三須・山手地区 山手福祉センター (☎90-2011) ▼服部・阿曾地区 三清荘 (☎92-6987) ▼西部地区 セレーノ

総社 (☎96-9066) ▼昭和地区 縁 (☎99-1943)